

Rapport（ラポール）とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報誌「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション誌です。

発行者／多摩大学 発行日／2018年6月30日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL：042-337-1111 FAX：042-337-7103
<https://www.tama.ac.jp/>

ジェロントロジーに取り組み

大都市郊外型高齢化に立ち向かう実践的研究

文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業タイプA」採択

Rapport

2018
Number

102

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.102 Contents

多摩大学 2017年度 褒賞者	02-03
多摩大学体育会フットサル部 新入部員の紹介	03
2018年度 入学式／国際交流	04
教員紹介／シルバー・デモクラシー企画	05
2017年度 就職状況	06
グローバルスタディーズ学部 第10回後援会定期総会	06
平成29年度 学校法人田村学園概要	07
News	07
2018多摩大スポーツフェスティバル 開催	08

多摩大学 2017 年度 褒賞者

2017 年度 秋学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1 年次
・区分 1

学生氏名
藤盛 佑哉

■ 2 年次
・区分 1

学生氏名
関 謙二郎

■ 3 年次
・区分 1

学生氏名
川田 浩大

・区分 2

学生氏名
相澤 大虎
秋山 京吾
荒兼 悠人
猪俣 大雅
遠藤 光一
奥山 孝亮
小田島 功弥
上岡 萌絵
小松 篤弥
瀬沼 桜基
田代 斗真
田中 梓
馬場 明仁
宮本 寛士
八束 あき
谷萩 優一
米盛 裕香
綿地 鈴夏

・区分 2

学生氏名
貝守 光希
貝守 勇希
菊池 裕輝也
窪田 楓
齋藤 星太
下島 大和
白井 拓海
徳光 李央
中田 理樹
中野 花
野田 航平
浜崎 周平
早川 礼奈
平山 与貴
藤山 拓海
二口 龍之介
宮澤 隆夫
森田 豊繁
山口 知徳

・区分 2

学生氏名
阿部 慎吾
荒井 綺花
石井 優貴
磯野 萌々香
大水 香
奥原 れいな
笠原 敏幸
紙谷 祐輔
澤田 和季
高橋 優太
田中 雄大
坪崎 遥香
長田 直人
西 鎮輝
根岸 直樹
早坂 一哉
前川 瑞稀
増田 悠斗
茂木 佑馬

●グローバル・スタディーズ学部

■ 1 年次
・区分 1

学生氏名
佐藤 泰河

■ 2 年次
・区分 1

学生氏名
堀口 奈々

■ 3 年次
・区分 1

学生氏名
木村 眞之

・区分 2

学生氏名
大岩 稔姫
川上 紗耶
田尻 彩音
西川 貴洋
平田 直幹
吹田 萌
宮崎 一海
本川 綾音
吉田 麻菜

・区分 2

学生氏名
神谷 雄太
クルーズ 愛子
坂本 貴彦
田中 光輝
田原 朋美
西谷 拓海
原田 花鈴
森田 涼平
山口 勇祐

・区分 2

学生氏名
岡部 多笑
田邊 輝広
福元 理紗
堀崎 未羽
森 舞子
藪田 亮
渡邊 岳到

※氏名 50 音順

※学年は 2017 年度のものとなります

経営情報学部 2017 年度 褒賞者

【2017 年度 最優秀学生賞】 大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

赤坂 英紀	市村 侑己	榎本 結香	岡 晃弘	佐藤 樹	島本 海央
-------	-------	-------	------	------	-------

※氏名 50 音順

【2017 年度 学長賞】 本学学生として模範的行為のあった者または団体

村山貞幸ゼミ

【2017 年度 学部長賞】 本学学生として模範的行為のあった者または団体

中村その子ゼミ

【2017 年度 社会・研究活動賞】

- ① コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体 ② 課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体
③ 在籍期間を通じて学生会等の活動にて特に貢献のあった者 ④ 優れた研究成果又は論文を発表した者または団体 ◎印は、選出理由

学生氏名・団体名	◎	内 容
一杉 波音	④	第 9 期インターゼミ (社会工学研究会) アジアダイナミズム班
後藤 駿介	②	多摩大学体育会フットサル部 部長
岡 晃弘	②	多摩大学体育会フットサル部 主将
玉木 真悟	③	多摩大学学生会経営情報学部執行部長、多摩祭実行委員長
世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト (梅澤佳子ゼミ)	①	大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業選出
みんなの食卓プロジェクト (梅澤佳子ゼミ)	④	「学生と地域の連携による食育への取り組み」としての優れた地域活動
中村その子ゼミ	②	多摩ラジオ放送、T-Studio 情報発信等を通じた学内活性化および大学知名度向上への貢献
村山貞幸ゼミ	②	伝統文化イベント実施 100 回および多様な報道実績
多摩大学体育会フットサル部	②	3 年連続 全日本大学フットサル大会 全国大会出場



優秀学生賞新 2 年生と社会・研究活動賞受賞者



優秀学生賞新 3 年生



優秀学生賞新 4 年生と社会・研究活動賞
および学部長賞代表者



優秀学生賞
交換留学生

【2017 年度 秋学期 優秀学生賞】

- ① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生
 ② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者
 ③ 成績向上が顕著な者 (GAP の向上等を基準)
 ④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
IT 活用法 II	①	中島 大地
IT コミュニケーション入門	①	坂本 結大
IT コミュニケーション入門	①	立野 美穂
アジア経済論 II	①	磯野 萌々香
アメリカ経済論	①	野田 航平
English Expression II	①	上岡 萌絵
English Expression II	①	亀田 良賢
English Expression II	①	萱嶋 諒介
English Expression II	①	瀬島 慎之介
English Expression II	①	古谷 響伽
Web デザイン II	①	関 謙二郎
海外活動英語コミュニケーション II	①	中島 麻莉奈
韓国経済論	①	高橋 優太
韓国語 II	①	霜田 愛璃
キャリア・デザイン入門	①	田中 梓
教育相談	①	増田 悠斗
クリエイティブデザイン II	①	チン シュテイ
グローバルエコノミー II	④	茂木 佑馬
グローバルエコノミー IV	④	紙谷 祐輔
グローバルビジネス入門	①	八束 あき
グローバルヒストリー II	①	高橋 慶
グローバルマーケティング I	①	中野 花
グローバルマーケティング I	④	中田 理樹
経営科学 II	①	増田 悠斗
経営組織 II	①	荒井 綺花
経営とセキュリティ	①	大水 香
現代メディア論 II	①	坪崎 遥香
財務会計 II	①	白井 拓海
産業社会特講 (デジタル時代のメディア実践 II)	①	田島 宏基
事業デザイン論 II	①	山崎 大
実践的実業経営特講	①	坂本 孝太

科目名	◎	学生氏名
社会心理	①	中島 麻莉奈
初級簿記	①	イ カケン
スポーツ I	①	八束 あき
多摩学 I	①	上岡 萌絵
多摩学 I	①	田中 梓
多摩学 I	④	中島 大地
地域産業論 II	①	茂木 佑馬
地域産業論 II	④	阿部 慎吾
地域政策プランニング	①	川村 千夏
地域ビジネス入門	①	荒兼 悠人
中国語 II	①	猪俣 大雅
中国語 II	①	川村 文人
中国語 II	①	三浦 麻子
中国語 II	①	森田 一生
中国ビジネスコミュニケーション II	①	トウ エイリン
データベース II	①	伊藤 彪我
データベース II	④	金城 宏樹
TOEIC II	①	窪田 楓
TOEIC II	①	関 謙二郎
特別講座 II	①	齊藤 駿介
日本語講座上級	①	アイラティエ ゴブル
認知心理	①	リン カソウ
ビジネス最前線研究	①	渡辺 満理奈
ビジネス戦略 II	①	北島 美希
Practical English Conversation I	①	貝守 光希
Practical English Conversation I	①	貝守 勇希
Practical English Conversation II	①	貝守 光希
ブランドマネジメント	①	森田 一生
プレゼミ II	②	鈴木 悠哉
プレゼミ II	②	玉木 真悟
プレゼミ II	②	藤田 侑也

科目名	◎	学生氏名
プレゼミ II	②	柴田 はるな
プレゼミ II	②	村山 竜晟
プレゼミ II	②	松本 瑠正
プレゼミ II	②	廣野 樹梨
プレゼミ II	②	岡部 里那
プレゼミ II	②	黒川 歩花
プレゼミ II	②	山口 知徳
プレゼミ II	②	木谷 花子
プレゼミ II	②	福田 恭丈
プレゼミ II	②	今 建太
プレゼミ II	②	早坂 一哉
プレゼミ II	②	井 汐里
プレゼミ II	②	栗本 寛太
プレゼミ II	②	和泉 遼
プレゼミ II	②	市川 侑弥
プレゼミ II	②	工藤 春哉
プレゼミ II	②	荒井 直樹
プレゼミ II	②	南 直人
プレゼミ II	②	赤坂 英紀
プレゼミ II	②	山崎 大
プレゼミ II	②	杉村 優香
プレゼミ II	②	馬場 新
プレゼミ II	②	大橋 奈紗
ベンチャー企業論	①	森元 仁太
マーケティングマネジメント論	①	馬場 明仁
マクロ経済学	①	荒兼 悠人
マクロ経済学	①	根岸 直樹
問題解決学入門 II	①	相澤 大虎
問題解決学入門 II	①	萱間 慶美
ライフ・デザイン	①	藤盛 佑哉
立志人物伝	①	貝守 勇希

※科目名 50 音順

多摩大学 体育会 フットサル部

<http://www.tama.ac.jp/futsal/>

■ 2018 年度 新入部員の紹介

新入生 8 名を加え、総勢 27 名 (選手 25 名、マネージャー 2 名) で日本一を目指します。



長田 侑大 1

【ポジション】ゴレイロ
 【出身校】中央学院
 【抱負】大学日本一を目指す!



野本 太一 8

【ポジション】アラ
 【出身校】帝京長岡
 【抱負】日本一とります。



本石 猛裕 9

【ポジション】ビヴォ/
 フィクソ【出身校】必由
 館【抱負】日本を背負
 える選手になります!!!



高橋 琉七 10

【ポジション】アラ
 【出身校】東村山西
 【抱負】全タイトル制
 覇!!!!



福田 佑樹 21

【ポジション】フィクソ/アラ
 【出身校】日本ウェルネス
 【抱負】誰にも負けない力
 をつけて、日本一目指します!!!



西岡 大翔 29

【ポジション】アラ/フィ
 クソ【出身校】クラーク
 記念国際【抱負】気持ち
 でゼッタイ負けない!



鎌田 怜 30

【ポジション】ゴレイロ
 【出身校】相模原 (私立)
 【抱負】向上心を持って
 頑張ります。



本田 俊仁 99

【ポジション】アラ
 【出身校】東海大学付
 属甲府【抱負】日本一
 目指して頑張ります。

◀ 主な戦績と今後の試合予定 ▶

(2018.6.22 現在)

- 第 24 回全日本フットサル選手権大会 東京都大会予選
 6 月 2 日 (土) VS DREAM futsalpark → 5-1 で勝利
 9 月 16 日 (日) VS 闘魂
- 第 14 回全日本大学フットサル大会 東京都大会
 6 月 23 日 (土) VS 東京外国語大学
 6 月 24 日 (日) VS 東京大学 or 慶應義塾大学の勝者

○ 関東大学リーグ

7 月 1 日 (日) VS 順天堂大学 GAZIL

○ 第 14 回全日本大学フットサル大会 関東大会

7 月 16 日 (月) 全日本大学フットサル大会 東京都大会を
 突破した際、出場

○ F 育成リーグ

7 月 29 日 (日) VS 府中アスレティック

News

■ 卒業生が F リーグ・ペスカドーラ町田トップチームに昇格!

後藤駿介選手 (多摩大学フットサル部 2017 年度卒業) が特別指定選手として、F リーグ・ペスカドーラ町田トップチームに昇格。所属先はアスピランチ (サテライトチーム) ですが、トップチームの試合に出場することが可能となります。

同じく、特別指定選手として F リーグ・パルドラール浦安に所属する多摩大学フットサル部 3 年生の石田健太郎選手に続き、フットサル部から 2 人目の F リーガー誕生となります。
 (2018.3.29)

■ 経営情報学部在籍の 3 名が U-19 フットサル日本代表候補に選出!

- ・ 南雲颯選手 (2 年・多摩大学フットサル部所属)
- ・ 本石猛裕選手 (1 年・多摩大学フットサル部所属)
- ・ 高橋裕大選手 (1 年・ペスカドーラ町田アスピランチ所属) (2018.4.3)

■ 卒業生 3 名が F リーグ Div.2 (F2) のチームに選手登録!

フットサル部卒業生 3 名が、今年度から新設の日本フットサルリーグ (F リーグ) の Division2 (F2) のチームに選手登録されました。

- ・ 中井響選手 (2015 年卒業) → Y.S.C.C 横浜 (F2)
- ・ 渡辺大輔選手 (2017 年卒業) → ボルクバレット北九州 (F2)
- ・ 三浦祐人選手 (2017 年卒業) → ボルセイド浜田 (F2) (2018.4.18)

「4 年間は大人への準備期間。自分で考え抜く力を身につけてほしい」

2018 年 4 月 5 日、パルテノン多摩 大ホールにて、「2018 年度多摩大学入学式」を挙行了しました。今年度の新入生は、経営情報学部 395 名、グローバルスタディーズ学部 185 名、計 580 名です。

寺島実郎学長は、「4 年間の大学生活は子どもから大人になるための大事な準備期間。大人であるための要件は経済的自立である。働くことには、経済的基盤を支える『稼ぎ』と、社会的貢献を果たす『務め』という 2 つの意味がある。『稼ぎ』と『務め』の両輪をもって生きていくことが重要。現在は、2 人に 1 人が 100 歳まで生きるといわれる異次元高齢化時代。20 歳前の若者は長い時間を生きていくため、学び考えて自分自身をマネジメントする力を身につけておく必要がある。学ぶ姿勢が将来を決定する大切な時期でもある。今、日本にはアジアから年間 2,200 万人ものインバウンドがある。皆さんにはアジアのダイナミズムと正面から向き合い、さらに物事を深く考える能力の基盤を身につけて巣立ってほしいと願っています」と新入生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、「自分なりの目標や志を見つけて、実現できる力を身につけてもらいたい。何事も自分の頭で考える力をつけ、とことん考え抜いてほしい。今やるべきこと、やらなければならないことを自分自身の力を信じてやり切してほしい。過去は変えられないけれど、未来はいくらでも変えられる。皆さんの学生生活が夢と希望に満ち溢れ、輝けるものとなりますように」とアドバイスと励ましの言葉を送りました。続いて来賓として出席された阿部裕行多摩市長、八木敏郎 多摩信用金庫理事長は、「皆さんの学生生活が、充実した 4 年間でありますように」と祝辞を述べました。また、経営情報学部の青野大星さんとグローバルスタディーズ学部の萩原汐海さんは新入生代表として、これからの大学生活への抱負と期待を語りました。

式典終了後は各学部で会場を別にして保護者の方々を対象に、教職員から多摩大学の教育方針・学生サポート・留学プログラム・専任教員・後援会などについて説明と紹介を行いました。



祝辞を述べる寺島学長



入学式に臨む新入生たち



経営情報学部、グローバルスタディーズ学部の新入生代表



グローバルスタディーズ学部 保護者向け説明会

国際交流

藤沢でアジアダイナミズムを体感する ―国際交流に向けたグローバルスタディーズ学部の挑戦

国際交流センター事務課 チェン・ウェンチー

グローバルスタディーズ学部 (SGS) は、ホップ・ステップ・ジャンプで学生の国際感覚を養成しています。ホップの目標は「海外に触れる」。そのため、SGS では徹底的に海外スタディーツアーを進化させてきました。最近では、台湾 (2017 年 9 月、2018 年 3 月)、シンガポール (2018 年 3 月)、マカオ (同 3 月) へのスタディーツアーを実施しました。参加学生数は昨年 9 月から延べ 72 名、半数が海外未経験で、参加にあたっては渡航先での英語プレゼンテーションを義務付けています。今年 3 月の台湾研修では、提携校の義守大学 (高雄市) にて、80 名の聴講者の前で発表しました。高大連携の試みとして藤沢翔陵高校の生徒 8 名が同行しており、SGS 生は先輩として高校生を指導しつつ、同時に自分の準備というプレッシャーに苦しみました。しかし、この挑戦に正面から体当たりし、確かな手ごたえを得ました。その後、台北の企業訪問では、海外で働くということに対して積極的に意見交換を行い、好奇心に溢れ、堂々と自信がみなぎった姿に大きな成長が見られました。今後も台湾、中国・昆明、ベトナム・ハノイ、シンガポールなど、スタディーツアーを積極的に行います。また、新入生全員がスタディーツアーに参加できる体制を構築していきます。海外からの受入体制も充実してきて、現在は私費留学生 10 名 (中国 7 名、ノルウェー 1 名、台湾 1 名、ネパール 1 名) と交換留学生 8 名 (台湾 5 名、韓国 1 名、マカオ 2 名) が SGS で学んでいます。日本人学生は、留学生たちと歓送迎会、言語の相互教授、地域イベント参加などで交流を深めています。スタディーツアーの受け入れも進み、最近では、南洋ポリテクニク (シンガポール) が来校 (2017 年 9 月 40 名、2018 年 3 月 12 名)、SGS 学生有志による江ノ島や鎌倉ツアーが行われました。

次の「ステップ」は、理想の自分に近づくための長期・短期の留学。そして「ジャンプ」は、卒業後のグローバル舞台での活躍に他なりません。本学が位置する藤沢市は 2020 年東京オリンピック会場 (セーリング競技) であり、自治体や地域企業は海外ネットワーク強化に取り組んでいます。こうした活動に SGS は積極的に参画しており、学生達にとっては卒業後の自分をイメージするための最良の生きた教材です。藤沢で、そして藤沢から、世界を感じる取り組み。これが私たちの究極の目標です。



現地大学生の前で英語プレゼン



提携校 NYP が来訪時、学生有志による江ノ島ツアー案内



藤沢翔陵高校と高大連携で台湾スタディーツアー

100年ライフのキャリアをデザインする

みなさんは将来どのような仕事につきたいと考えていますか？

まだ決まっていないという人、大学時代に探したいと思っている人もたくさんいると思います。これまで、多くの学生の就職に関わってきましたが、仕事やキャリアの難しい点は、「絶対の正解がない」ことです。どの企業・仕事に就けば幸せになれるかは、一人ひとり異なります。また、これから就職するみなさんは100年ライフの世代です。仕事をする期間も50年を超えるかもしれません。だからこそ、自分に合った仕事、天職だと思えるような仕事を見つけていくことは、人生を豊かにする上でも極めて重要なことです。私の授業では、自分に合った仕事・キャリアを選択するために大きく3つのテーマを学んでいきます。第1に「社会(の変化)を知ること」、第2に「自分を知ること」、そして第3に「企業・仕事を知ること」です。みなさんと一緒に学べることを楽しみにしています。

初見 康行

(ハツミヤスギ)

経営情報学部 准教授

〈プロフィール〉

2004年同志社大学文学部卒業。(株)リクルートHRマーケティング

にて、法人営業、人事業務に従事。2014年一橋大学大学院商学研究科単位取得退学。2017年博士(商学)。専門は経営学(人的資源管理)。著書に「若年者の早期離職(中央経済社)」。2018年より現職。



人間の目線から、経済・社会を捉える

私は現在、人間は「そこまで完璧ではない」という観点から人間行動や経済行動を検討する行動経済学という分野を専門としています。昨年度のノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラー氏が研究されているような分野です。特に、他者に対して優しくする傾向である利他性の促進要因について調査および実験的手法を用いて研究を進めています。同時に、企業とも行動経済学のマーケティング応用を目指した研究を進めております。また、授業では行動経済学が明らかにしてきた人間行動の特徴を踏まえて問題解決やコミュニケーションのあり方を考える「ビジネスコミュニケーションIII」の他に、大学での学修の基礎を身につける「スタディースキル入門」やマーケティングに関連する統計データの実践的な分析手法を身につける「マーケティングデータ分析」などを担当しています。学生の皆さんが知的に興奮できる楽しめる授業を展開できるように心がけていきますので今後共どうぞよろしくお願いいたします。

後藤 晶

(ゴトウ アキラ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

中央大学総合政策学部

卒業、明治大学大学院

情報コミュニケーション

研究科修了。博士(情報コミュニケーション

学)。明治大学情報コミュニケーション学部助手、山梨英和大学人間文化学部助教を経て現職。

専門は行動経済学、社会情報学、実験/計算社会科学。



心理学的観点から「経営」と「情報」にアプローチする

一見、あまり関連がないようにも思われるかもしれませんが、心理学で扱われる内容や、データの分析手法は、消費者行動や、マーケティングと関わる深い領域でもあります。例えば、人の認知や気分、感情、与えられた情報や選択肢などの様々な要因によって、消費者行動が変化することが知られています。また、より良いマーケティングを展開するために欠かせないデータ分析には、心理学でも良く用いられる統計手法を使い、「データから何を、どこまで主張できるのか」を明らかにすることができます。こういった心理学で扱われる内容から、経営や情報処理に関わる分野への理解を深めるような授業を目指しています。

今後は、心理学の知見を活かし、例えば「より目を惹くような、魅力的な広告とは何だろうか」といったような、認知と感情の関係性などを踏まえた消費者行動を中心とした人間の行動に関するテーマをゼミや担当授業で扱っていきたいと考えています。

加藤 みずき

(カトウ ミズキ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

新潟県出身。中央大学

文学部人文社会学科卒業後、法政大学大学院

人文科学研究科に進学し修士号取得(心理学)。

専攻は認知心理学・教育心理学で、主に記憶と感情の関連についての研究活動に従事。同大学院

博士後期課程単位満了退学後、2018年度より現職。



多摩大学「シルバー・デモクラシー企画」

第4弾 山梨県南アルプス市で「果樹ぶどう体験×講座」を開講

「多摩大学寺島実郎監修リレー講座」受講者を対象に、農業体験を通してリタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として9年後にリニア中央新幹線が結ぶ山梨県南アルプス市との連携によるシルバー・デモクラシー企画を2018年5月20日に実施しました。昨年の田植え・稲刈等の体験に続く山梨県南アルプス市で「食」と「農」に接近する社会参画として、多摩地域で暮らしながら田舎での農作業にて社会的役割を担う体験をしました。午前中は扇状地にあるブドウ畑でワイン用甲州種の枝の誘引と除草作業を体験し、午後は重要文化財「安藤家住宅」(国指定文化財)の蔵で、南アルプス市文化財課の方による、なぜ山梨が果樹栽培の産地として発展したのかをテーマに日本の農業史と政治史、そして文明論的観点を交えての教養文化講座を受講しました。

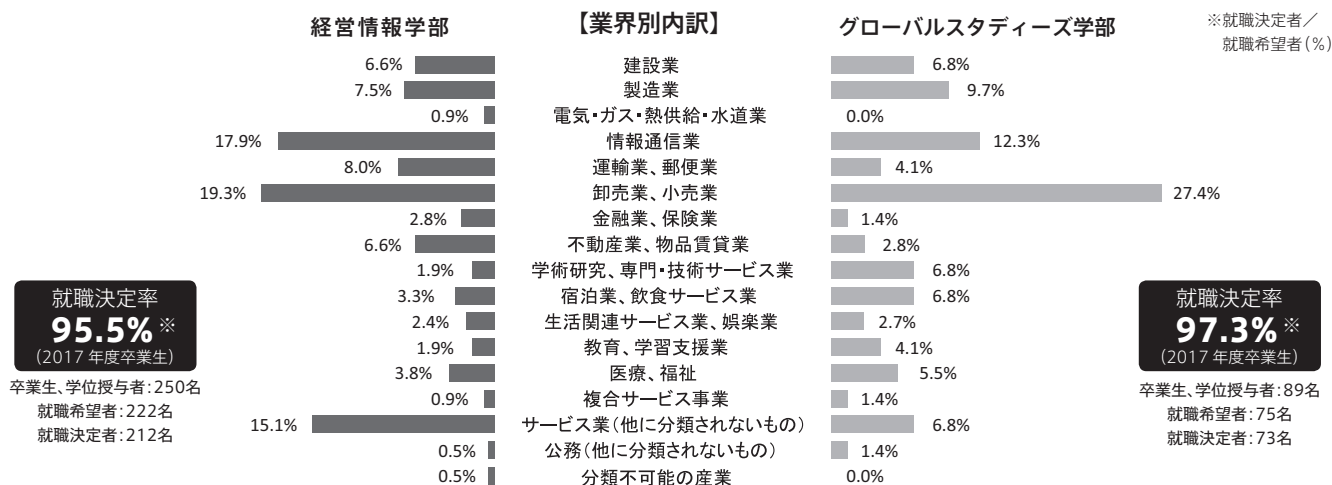
農業に興味はあるが、なかなか自分では踏み出せない高齢者に、大学がプラットフォームを提供することで、異次元の高齢化に立ち向かう実験である本企画の企画意図を高めるべく、今回は南アルプス市の若手農家経営者の方々との交流会もおこない、若者の考えるこれからの農業と高齢者の参画という実際のテーマに踏み込む第一歩となりました。



多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細かなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的に就職に関する父母懇談会を開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、国内外で豊富なビジネス経験を持つ教職員が、グローバルに活躍できる人材育成を目標に少人数の対話形式の授業＋キャリア支援講座＋インターンシップなどのキャリア支援を実践し、全学年を通して学生の希望・適性・個性・能力等にあったアドバイスを行っています。

2017 年度 就職状況

※ 2018 年 5 月 1 日現在



【主な就職先】 (50 音順)

〈経営情報学部〉 足柄乳業(株)、厚木市農業協同組合、いちよし証券(株)、(株)エイブル、(株)NTT データエマーズ、(株)オノマシン、関東エア・ウォーター(株)、KeePer 技研(株)、京王不動産(株)、ケル(株)、コーデンシTK (株)、国際自動車(株)、ゴトウコンクリート(株)、斎長物産(株)、(株)三技協、(株)スズキ自販東京、(株)セイシン企業、西武信用金庫、(株)第一興商、大東建託(株)、多摩信用金庫、トランスコスモス(株)、中村鋼材(株)、(株)ニックス、日産プリンス西東京販売(株)、日藤海運(株)、(株)日本ハウスホールディングス、日本郵便(株)、(株)FANCL、(株)ベストランス、(株)マイテック、(株)ランドコンピュータ、(株)レオパレス21、(株)ローソン、(株)ロフト 他

〈グローバルスタディーズ学部〉 ITX (株)、青山商事(株)、井関農機(株)、インターネットウェア(株)、(株)エイブル、(株)NSP、(株)カインズ、神奈川日産自動車(株)、関越ソフトウェア(株)、(株)キープ・ウィルディング、キングラン(株)、警視庁、小島電機工業(株)、(株)サンケイビルウェルケア、(株)すかいらく、(株)セコム、全日本空輸(株)、東京セキスイハイム(株)、TOKYO フレッシュ(株)、東京ベイヒルトン(株)、(株)TRUST、(株)なだ万、(株)ニチイ学館、ニッカ(株)、(株)日本航空、(株)日本ハウスホールディングス、(株)ノジマ、ハイテクシステム(株)、(株)ファイブフォックス、(株)富士ソフト、(株)ベネッセスタイルケア、(株)ベルーナ、横浜信用金庫、(株)吉野工業所、明光産業(株) 他

その他、主な就職先はこちらをご覧ください。

○経営情報学部 <https://www.tama.ac.jp/career/smis/jisseki.html> ○グローバルスタディーズ学部 <https://www.tama.ac.jp/career/sms/005.html>

グローバルスタディーズ学部 第 10 回後援会定期総会

2018 年 6 月 16 日 湘南キャンパスにて、「グローバルスタディーズ学部 第 10 回後援会定期総会」を開催。総会後には、安田震一グローバルスタディーズ学部長による SGS の現況報告、橋詰博樹教授による「I Love 湘南 Project」活動の説明と報告、各種説明会、懇親会がありました。

○後援会定期総会

第 1 号議案 (平成 29 年度事業報告・決算報告・監査報告)、第 2 号議案 (平成 30 年度後援会役員の選出)、第 3 号議案 (平成 30 年度事業計画・予算) について審議し、承認されました。

○第 1 部 SGS の現況 (安田震一グローバルスタディーズ学部長)

藤沢市および藤沢市観光協会と提携する多摩大学の地域連携活動、提携校である公立名城大学 (沖縄県) における研修、藤沢市と雲南省昆明市の観光交流促進への参加 (2018 年 4 月) など SGS の取り組みを紹介しました。また、SGS のミッションは「グローバル人材の育成」とし、①少人数制 ②英語教育 ③留学プログラム ④面倒見が良い (インターンシップ・キャリア講座) の

4 要素と説明。さらにカリキュラムや教育内容、2 つの専攻コース、短期・長期の留学制度、就職実績についても解説しました。

○第 2 部 I Love 湘南 Project (橋詰博樹教授)

SGS では 2017 年 6 月に「I Love 湘南 Project」を設立し、現在 179 名の学生が登録。2018 年度は多言語メニュー作成支援、海藻シンポジウムや伝統文化教室のサポートなど 8 つのプロジェクトに参加し、学生が積極的にグローバル (グローバル＋ローカル) 活動へと取り組んでいることを報告しました。

○各種説明会

「学生生活の過ごし方」「授業の履修・成績」「留学」「キャリア支援」のテーマ別に教室を分けて、保証人の皆様からのご質問やご相談に教職員が個別に対応、情報交換の場としても有意義な時間となりました。

○懇親会

各種説明会終了後、カフェテリアにて懇親会を行い、保証人の皆様と教職員が和やかに歓談し交流を深めました。



定期総会にて役員に選出された皆様



安田震一学部長による説明



橋詰博樹教授による報告



各種説明会での面談の様子



懇親会の様子

平成 29 年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日 (平成 29 年度)

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	前年度末	本年度末	増 減
固定資産	22,660	23,090	430
有形 固定 資産	19,924	19,755	△ 169
土 地	11,746	11,746	0
建 物	7,146	6,880	△ 266
そ の 他	1,032	1,129	97
特定資産	1,892	1,992	100
第 2 号 基本金引当特定資産	1,800	1,900	100
第 3 号 基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	844	1,343	499
電話加入権	5	5	0
そ の 他	839	1,338	499
流動資産	4,793	5,022	229
現 金 預 金	3,973	4,546	573
そ の 他	820	476	△ 344
資産の部合計	27,453	28,112	659
負債の部			
科 目	前年度末	本年度末	増 減
固定負債	379	404	25
長 期 借 入 金	2	1	△ 1
退職給与引当金	377	403	26
流動負債	1,083	1,207	124
短 期 借 入 金	1	2	1
前 受 金	797	882	85
そ の 他	285	323	38
負債の部合計	1,462	1,611	149
純資産の部			
科 目	前年度末	本年度末	増 減
基本金	31,878	32,119	241
第 1 号 基本金	29,634	29,775	141
第 2 号 基本金	1,800	1,900	100
第 3 号 基本金	92	92	0
第 4 号 基本金	352	352	0
繰越収支差額	△ 5,887	△ 5,618	269
翌年度繰越収支差額	△ 5,887	△ 5,618	269
純資産の部合計	25,991	26,501	510
負債及び純資産の部合計	27,453	28,112	659

(平成 29 年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

(資金収支)

(資金収入) (単位：百万円)

学生生徒等納付金収入	3,728
手数料収入	72
寄付金収入	58
補助金収入	1,270
資産売却収入	280
付随事業・収益事業収入	179
受取利息・配当金収入	39
雑収入	215
その他	144
前年度繰越支払資金	3,974
合計	9,959

(資金支出)

人件費支出	3,101
教育研究経費支出	1,032
管理経費支出	440
借入金等利息支出	0
その他	840
翌年度繰越支払資金	4,546
合計	9,959

(事業活動収支)

(単位：百万円)

学生生徒等納付金	3,728
手数料	72
寄付金	57
経常費等補助金	1,249
付随事業収入	179
雑収入	215
教育活動収入 合計	5,500
人件費	3,127
教育研究経費	1,429
管理経費	471
その他	24
教育活動支出 合計	5,051
教育活動収支差額	449
教育活動外収入	38
教育活動外支出	0
教育活動外収支差額	38
経常収支差額	487
特別収入	25
特別支出	2
特別収支差額	23
基本金組入前当年度収支差額	510
基本金組入額	△ 241
当年度収支差額	269
前年度繰越収支差額	△ 5,887
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,618
(参考)	
事業活動収入 合計	5,563
事業活動支出 合計	5,053

(平成 30 年度)

・学生・生徒等 (人)	田村学園全体	4,797
	多摩大学	
	学部	
	経営情報学部	1,476
	グローバルスタディーズ学部	651
	多摩大学 大学院	124
	高校 (2)・中学 (2)・幼稚園 (3)	2,546
・キャンパス面積 (㎡)	田村学園全体	114,228
	多摩大学	44,913
	その他	69,315

以上、平成 30 年 5 月 1 日 現在

News

昭島市と多摩大学の連携に関する協定締結式を挙行

4 月 10 日昭島市役所市民ホールにて、昭島市における産業振興計画の実行とさらなる地域の活性化に向け、大学生の視点や活動を取り入れ、大学に集積している知識、情報、ノウハウを活かすことを目的とした連携に関する協定締結式を挙行。寺島実郎多摩大学学長による基調講演の後、臼井伸介昭島市長、寺島学長による協定書への署名が行われました。松本祐一 多摩大学地域活性化マネジメントセンター長からは今年度の取り組みとして、昭島市、多摩大学、多摩信用金庫、昭島市商工会、一般社団法人昭島観光まちづくり協会等で構成するプロジェクト推進会議の設置などの報告がありました。



高大連携プロジェクト「パッションフルーツの苗を植える」キックオフ

4 月 25 日多摩キャンパスにて、八王子のパッションフルーツ育成・PR 強化を目的に、17 本の苗を植えました。当日は、松本祐一 地域活性化マネジメントセンター長よりキックオフの挨拶があり、経営情報学部生 26 名 (野坂美穂ゼミ、小西英行ゼミ、大森拓哉ゼミ) と多摩大学附属聖ヶ丘中学校高等学校の生徒 19 名が参加し、顔合わせとプロジェクトの説明が行われた後、苗を植え、高大連携プロジェクトがスタートしました。

今後は高大連携ワークショップで、情報発信やパッションフルーツの PR の方法を提案し、生育状況等を HP や SNS を利用して広く発信していきます。



[寺島実郎監修リレー講座] 湘南キャンパス ライブビューイング始動

「寺島実郎監修リレー講座『現代世界解析講座』」は、2008 年度から春・秋学期それぞれ 12 回開講し、受講者は延べ 121,774 名となりました。

11 年目となる今学期からは、多摩大学が持つコンテンツを発信する取り組みの一つとして、多摩キャンパスで開講しているリレー講座を湘南キャンパスにリアルタイムで配信するライブビューイング受講を開始。多摩キャンパス：一般受講者 427 名、学生 220 名、湘南キャンパス：一般受講者 47 名、学生 24 名が、寺島実郎学長をはじめ、各界で活躍する碩学による講義を、会場、世代を超え聴講しています。



2018 多摩大スポーツフェスティバル 開催

二人三脚神経衰弱

二人三脚で2枚のカードをめくり数字を揃える。



2018年4月27日、多摩キャンパスにて「2018多摩大スポーツフェスティバル」を開催しました。このスポーツフェスティバルは新入生の仲間づくりや上級生・教職員との交流を目的とし、今回が初めての取り組みとなります。

屋外では「二人三脚神経衰弱」「ムカデ競争」「ゼミ対抗リレー」の3種目、屋内では「お箸で豆を何個運べるかゲーム」「連想ゲーム」「HAXBALL (e-スポーツ)」の3種目の競技を実施しました。競技にはプレゼミ28クラスと村山貞幸ゼミ、大森拓哉ゼミ、久保田貴文ゼミ、留学生連合の計32チームが参加。学生と教員総勢約500名が、チーム対抗で順位を競いました。学生たちはチームで団結して競技に臨み、全力で疾走し、励まし合い、大きな声で仲間を応援し、競技を楽しみながら交流を深めていました。

ムカデ競争

5人でムカデ下駄を履いて30mを走破。



表彰式

合計得点が多い上位8チームを表彰。



ゼミ対抗リレー

芝生グラウンドをバトンリレー。上位4チームで決勝戦。



パン食い競争

昼休みに希望者が自由参加。



HAXBALL

チームで勝ち点を競うPCゲーム。



お箸で豆を何個運べるかゲーム

移動させた豆の重さを競う。



連想ゲーム

伝達された絵からお題を想像する。

参加者が集し記念撮影

